



▲動画配信が見られます

議員のつぶやき
町民目線で
早急な対応を
望みたい



むろいたかお
室井高男

■ 幼児・学校教育の総合支援について

質問 放課後児童クラブの運営支援は

町▶負担軽減の提案等を継続する

問 保育園と幼稚園の幼児教育の違いによる就学時の違いは。

答 〔教育長〕
施設の違いは差異ではなく、特色と捉えている。

問 年齢に合わせた統一的な幼児教育を行う考えは。

答 〔こども未来課長〕
幼稚園、保育園ともに特色ある幼児教育を行っており現在はない。

問 小学生のスポーツ少年団活動をどのように位置づけているか。

答 〔教育長〕
保護者と地域が連携を図りながら活動するもの。スポーツ少年団活動の在り方についても十分検討する。

問 小中学校の部活動における監督、指導員不足の支援は。

答 〔学校教育課長〕
中学校では県の事業により3名の指導者を配置した。小学校では保護者や地域の方に指導者をお願いすることを、まずは考えている。

問 保護者会による放課後児童クラブ運営に対する支援は。

答 〔こども未来課長〕
事務的な負担軽減の提案等を継続したい。



■ 定住促進について

質問 町有地の新たな宅地分譲は

町▶適した町有地はない

問 定住促進のために町有地を活用した新たな土地分譲の考えは。

答 〔ふるさと定住課長〕
宅地分譲に適した町有地が現在はないので、考えていない。

問 民有地を取得し分譲する考えは。

答 〔ふるさと定住課長〕
住民のニーズや社会情勢、町の財政状況などを総合的に勘案して、必要に応じ検討したい。

問 老朽化した町有住宅の新築、リフォームの今後の予定は。

答 〔ふるさと定住課長〕
公営住宅等長寿命化計画に基づき、定期的な点検、診断、計画的な改修を滞りなく行う。

問 未利用別荘地の利用推進を図る考えは。

答 〔ふるさと定住課長〕
民間の別荘地、特に土地のみについて、行政が関わることは非常に難しい。所有者等から相談があった場合は、町と協定を結んでいる栃木県宅地建物取引業協会に情報提供を行いながら進める。